

取扱説明書

保証書付き
保証書は裏表紙に付いています。

日立 充電式 掃除機 型式 ピーブイ ビージェイ ジー PV-BJ700G



パワーブーストサイクロン 日立 コードレス スティッククリーナー

このたびは日立充電式掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用、屋内用です。業務用や掃除以外の目的、および屋外ではご使用にならないでください。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.4~7)をお読みいただき、正しくご使用ください。



日立の家電品
お客様サポート

ホームページから以下の
サービスがご利用いただ
けます。

- ▶ 使いかた動画
 - ▶ 家電品の登録^{※1}
 - ▶ お知らせ
 - ▶ 取扱説明書
 - ▶ よくあるご質問
 - ▶ お問い合わせ
- (機種により対応していない項目もあります)
※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。
詳しくは→(P.31)

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえと組み立てかた	2
安全上のご注意	4
使用上のお願い	7

使いかた

操作部と表示部	8
運転スイッチ／充電時の表示ランプ／ 運転時の表示ランプ	8
充電のしかた	9
運転のしかた	10
スティッククリーナーとして使う	10
ハンディクリーナーとして使う	10
お掃除のしかた	11
スティッククリーナーとして使う	11
ハンディクリーナーとして使う	12

お掃除が終わったら

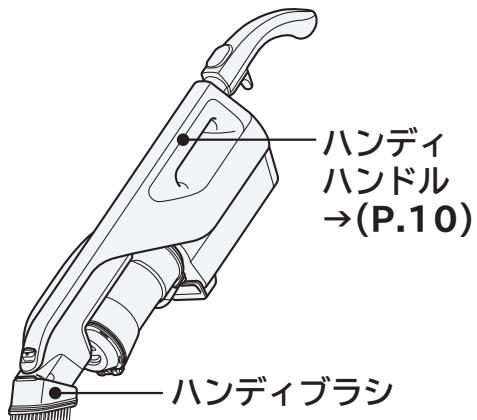
ごみの捨てかた	14
ごみすてラインの確認のしかた	14
ダストケースの取り外しかた	14
ダストケースのごみの捨てかた	15
お手入れのしかた(通常のお手入れ)	16
各フィルターのお手入れのしかた	16
ダストケースの取り付けかた	18
あとかたづけ	19
収納のしかた	19
お手入れのしかた(水洗い)	19
本体・標準付属品・付属応用部品	19
水洗いできる部品	19
各フィルターのお手入れのしかた	20
お手入れのしかた(パワー・ヘッド)	22

こんなときは

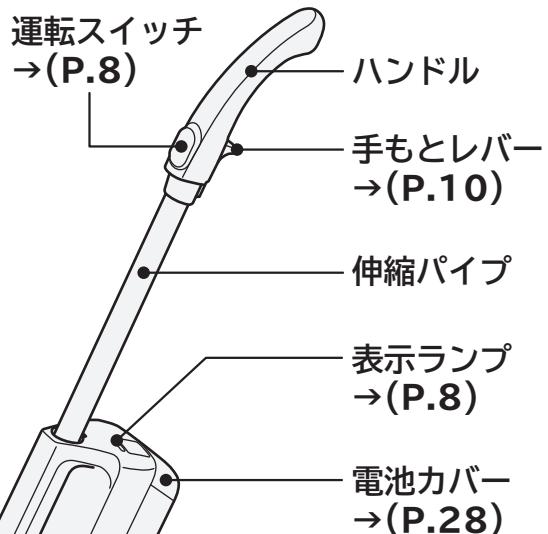
お困りのとき	24
電池の交換と製品の廃棄のしかた	27
電池の交換	27
製品の廃棄	27
保証とアフターサービス	29
別売り部品	30
仕様	31

各部のなまえと組み立てかた

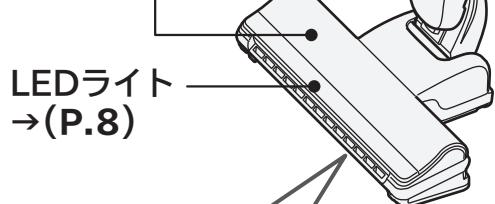
ハンディクリーナー状態
→(P.10、12、13)



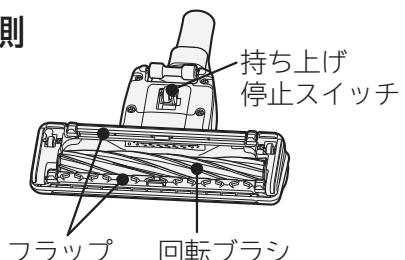
スティッククリーナー状態
→(P.10~12)



パワーヘッド
取り外しボタン
→(P.11、12、22、23)



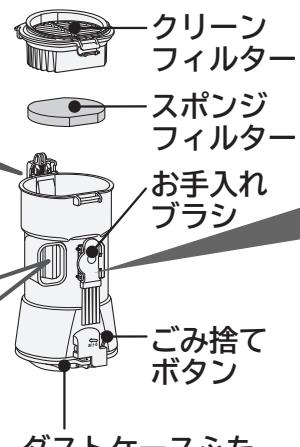
裏側



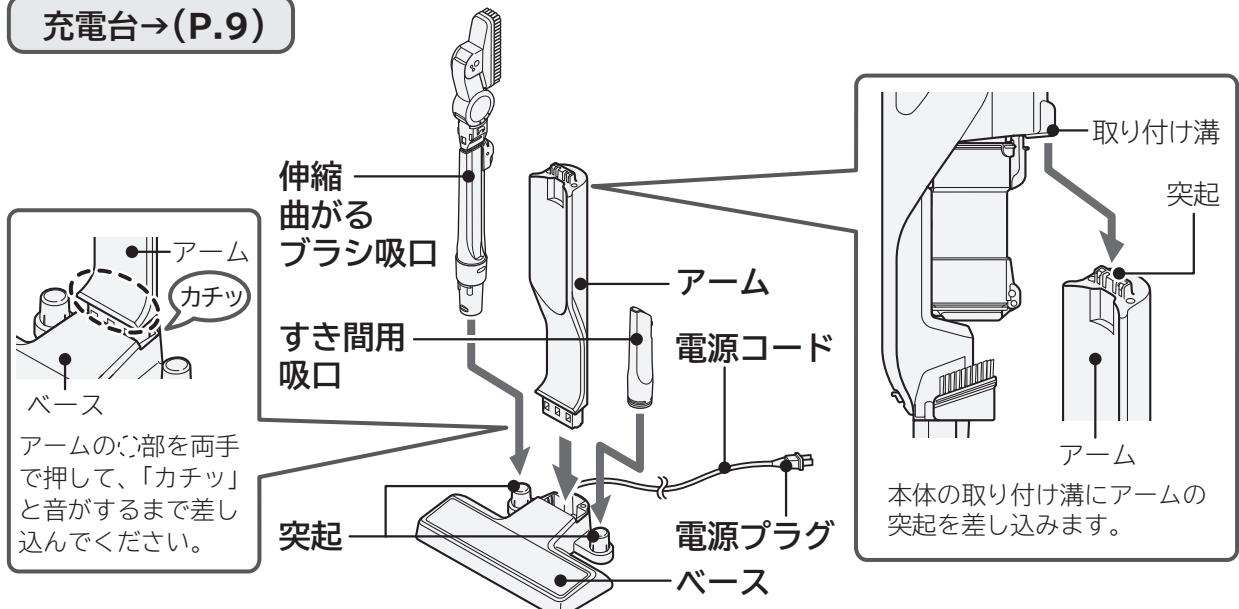
ダストケース→(P.14~21)



内筒フィルター
→(P.17、21)



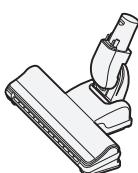
充電台→(P.9)



すき間用吸口、伸縮曲がるブラシ吸口は、充電台ベースの突起に取り付けることができます。

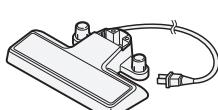
標準付属品

パワー ヘッド (1個)
(パワフルスマートヘッド D-DP14)



充電台

ベース (1個)
(PVC-01)

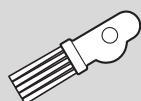


アーム (1個)



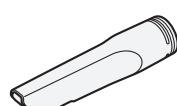
付属応用部品

お手入れブラシ (1個)



(ダストケース背面に取り付けられています)

すき間用吸口 (1個) →(P.12)



伸縮曲がるブラシ吸口→(P.13)

ワイドブラシ (1個)



伸縮吸口 (1個)

標準付属品と付属応用部品は同梱されていますが、個別にお買い求めいただくこともできます。
お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.29、30)

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

！危険

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

！警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

！注意

この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明



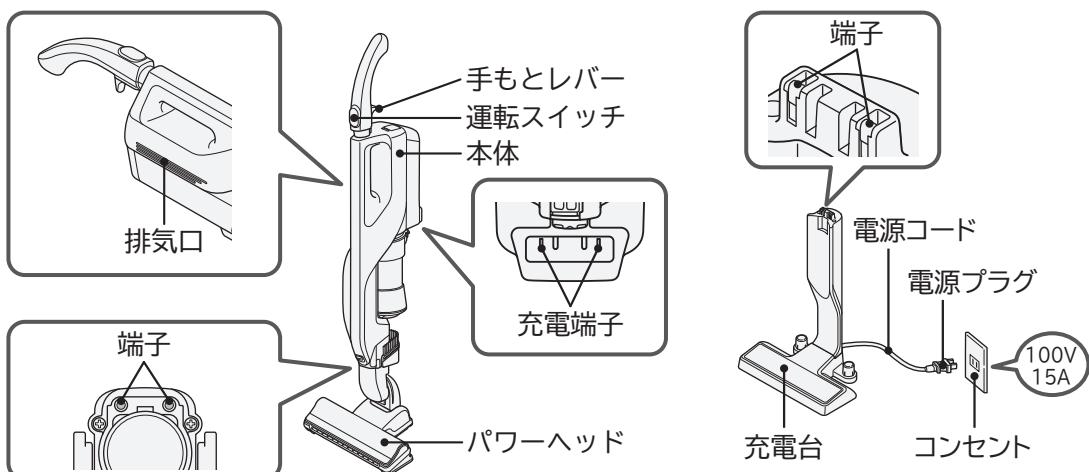
「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



必ず実行していただく「指示」内容のものです。



！危険



●分解したり、修理・改造しない

漏液・発熱・発火・けがの原因となります。

修理は販売店またはご相談窓口にご相談ください。

●本体・充電台に水分や液体を付着させない

電池の破裂、製品の発火・故障、感電の原因となります。

●本体・充電台の各端子間を針金やピンなどの金属で接続しない

金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

故障や電池のショート(短絡)による、漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

●火の中に投入したり、加熱しない

●火やストーブのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高温の場所で充電・使用・放置しない

電池の漏液・発熱・破裂・発煙・発火、本体の変形・故障の原因となります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



- 充電が完了しているのに、運転スイッチを押しても運転しない
- 電源プラグや電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体や充電台が変形していたり、異常に熱い
- 電源コードが破損していたり、異常に熱い
- こげくさい“におい”がする
- その他の異常や故障がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。

すぐに本体の「切」ボタンを押して運転を止め、充電台は電源プラグをコンセントから抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

コンセント・電源プラグ・電源コード・充電台



- 交流100Vのコンセントを使う

延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントを使用しない。

- 電源プラグに付着したほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 充電台のお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源コードを傷つけない

[傷つけ・加工・無理な曲げ・束ね・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない]

- 傷んだ電源コード・電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない

- 電源コードをパワーヘッドの回転ブラシに巻き込まない

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない、充電台や本体の充電端子などに触れない

- 付属の充電台(PVC-01)と本体との組み合わせ以外での充電はしない

- 付属の充電台(PVC-01)でほかの充電式電池や、充電式ではない電池の充電はしない

火災・感電の原因となります。



パワーヘッド(吸込口)



- 回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
けがの原因となります。特にお子さまにはご注意ください。



- パワーヘッドを引くときに、体の一部(足の上など)
に乗り上げない
けがの原因となります。



ハンドル・そのほか

- 手もとレバーを引くときは、本体とハンドルの間に手を置かない
- パワーヘッドを床面から浮かせた状態で手もとレバーを引かない
けがの原因となります。



- 引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、
吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、
鉄粉、洗剤、多量の小麦粉、可燃性ガス(スプレー)、たばこの
吸い殻など〕



- 先端が尖ったものを吸わせない(押しピン、針、つまようじ、ヘアピンなど)
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものを吸わせない
- 屋外で使用しない
- 水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)
- 湿気の多い場所では充電や保管をしない



爆発・火災・感電・けがの原因となります。

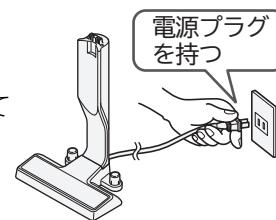
安全上のご注意(続き)

! 注意

コンセント・電源プラグ・電源コード



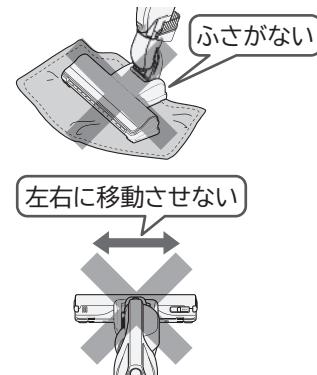
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードを持って引き抜くと、電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火することがあります。
- 電源コードを充電台に巻きつけて使用しない
電源コードが破損して感電・発火の原因となります。
- 長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。



パワーHEAD(吸入口)



- 吸入口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体、パワーHEADの変形・発火の原因となります。
- お手入れの際は、本体からパワーHEADを取り外す
けがの原因となります。
- ほかの製品に取り付けて使用したり、ほかの製品のパワーHEADを取り付けて使用しない
過熱による本体、パワーHEADの変形・発火の原因となります。
- パワーHEADが前方を向いている状態で左右に移動させない
●砂・小石などの異物が付着したまま使用しない
床面を傷つけることがあります。
- ふとんの中に入れたまま運転しない
過熱による変形・発火の原因となります。



排気口



- 排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
- 排気口から出る風を、長時間体に当てない
低温やけどをすることがあります。



ハンドル・そのほか



- 本体を持ち運ぶときは、ダストケースを持たない
本体が落下してけがをしたり、床面を傷つけることがあります。
- 火気に近づけない
変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。
排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。
- 本体を運転したまま自立させない
- 本体を自立させたまま放置しない
- 収納するときは伸縮パイプを縮め、充電台にセットする
倒れてけがをしたり、床面を傷つけることがあります。
- お手入れの際は、運転を止める
けがの原因となります。
- 充電台にセットした状態のまま持ち運ばない
本体が落下してけがをしたり、床面を傷つけることがあります。
- ハンディブラシを使用せずに本体の先端で掃除をしない
ショート(短絡)して感電・発火・故障・床面の傷つきの原因となります。
- 充電台の置き場所は、結露、湿気の多い場所には設置しない
床面が変色することがあります。
- 本体、パワーHEAD、充電台、付属応用部品を高所から落とさない
けがをしたり、床面を傷つけたり、破損の原因となります。
- LEDライトを直視しない
目を痛めることができます。
- 本機は製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用する
感電・けがの原因となります。特にお子さまにご注意ください。

電池について(リチウムイオン電池)

!**危険**



- 電池は、本機以外の機器に接続しない
また、電池を分解・改造・はんだ付けしたり、単独で充電しない
本機を廃棄する場合以外は、電池を本体から取り外さない
- 修理技術者以外の人は電池の交換をしない
お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。→(P.29)
- 金属端子部に触れたり、針金やピンなどの金属で接続しない
- 金属と一緒に持ち運んだり、保管しない [ネックレス、ヘアピン、コイン、鍵など]
- 釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなど、強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
- 火気に近づけない
- 火やヒーターのそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高温の場所に置かない
- 本機専用の電池以外使用しない
- 電子レンジやオーブンに電池を入れない
- 水(液体)につけたり、かけたりしない
漏液・発熱・破裂・発煙・発火・感電・けがの原因となります。



- 電池内の液体が目に入ったときは、目をこすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師に相談する
目に障害がおきる原因となります。

!**警告**



- 落としたり、電池が液漏れしたり、異臭、変色、変形、傷つき、そのほか今までと異なることに気付いたときは使用しない
発熱・破裂・発煙・発火の原因となります。液が床に付着すると損害を与えることがあります。
- 電池が液漏れしている場合、素手では触れない
皮膚がかぶれる原因となります。
- 電池は乳幼児の手の届くところに置かない
感電・けがの原因となります。



- 電池内の液体が皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流したあと、直ちに医師に相談する
皮膚がかぶれる原因となります。

!**注意**



- 室温が5°C以上35°C未満の所で充電する
室温が低い場合や直射日光が当たるなど高温の場所では、正しく充電されず、運転時間が短くなったり、充電時間が長くなることがあります。また、電池劣化の原因となります。
- 所定の充電時間を大幅に越えても充電が完了しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く
- 湿気やほこりの少ない場所で保管する
発熱・破裂・発火の原因となります。

使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。

また、本文中の**お願い**事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

- 本体、パワーヘッド、充電台、付属応用部品を強くぶつけない
変形・破損の原因となります。
- 次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体・湿ったもの・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉・長いひも・ガラス

- 本体、パワーヘッド、充電台、付属応用部品に乗らない
故障の原因となります。
- 水洗いした部品は、陰干しにして十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

操作部と表示部

運転スイッチ

運転するとき

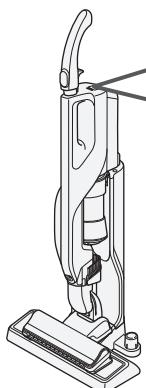
強/タボ または 標準/タボ ボタンを押します。
「強」……じゅうたんの念入りなお掃除に
「標準」……普通のお掃除に
ターボモード：
運転中に同じ運転ボタンをもう一度押します。
「ターボ」…特に気になる場所のお掃除に
(約5秒間) →(P.10)
・表示ランプ：緑点灯
・パワーヘッド：LED点灯→(P.2)



運転を止めたいとき

切 ボタンを押します。

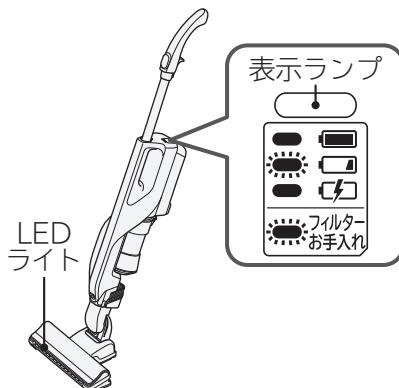
充電時の表示ランプ



表示ランプ		充電状態
赤	点灯	充電中です。 充電時間は約3.5時間ですが、周囲温度・使用時間などにより、電池の温度が高くなった場合、充電に適した温度になるまで、自動的に待機するため、充電時間が長くなることがあります。
	消灯	充電完了(満充電) 充電が完了すると消灯します。

※充電台に本体がセットされると、表示ランプが緑点灯した後に赤点灯に変わります。
※表示ランプが消えた状態で本体を充電台から外し、再び充電台にのせると、表示ランプが赤点灯しますが、異常ではありません。
※充電時に表示ランプが赤点滅したり、赤/緑交互に点滅する場合は異常です。→(P.26)

運転時の表示ランプ



表示ランプ		運転状態
緑	点灯	運転中です。 電池残量が多い状態です。
	点滅	電池残量が少ない状態です。 充電してください。
赤	点滅 (1秒間に約2回)	フィルターお手入れ→(P.14~21)のお知らせ(目安)です。

※電池表示ランプが赤く遅点滅(2秒間に約1回)した場合は、本体モータおよび電池の過熱を防ぐため、保護運転になり、吸込力が弱くなります。→(P.24)
※表示ランプが赤点滅した場合は、パワーヘッドのモーターの過熱を防ぐため、自動的に回転ブラシ・LEDライトが停止することがあります。→(P.24,26)



表示ランプが赤点滅(1秒間に約2回)した場合は、フィルターのお手入れをしないまま運転開始と運転休止を繰り返さない
故障の原因となります。

運転中に本体の「表示ランプ」が赤点滅(1秒間に約2回)する、または運転が停止し、本体の「表示ランプ」が赤点滅(1秒間に約2回)するときは

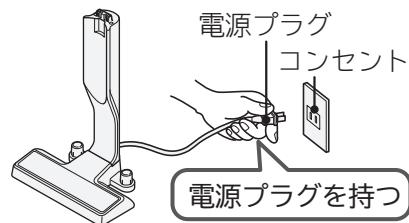
- ごみを捨て、ダストケース・各フィルターのごみを取り除いてください。→(P.14~18)
- 各フィルターのごみを取り除いても、運転中に本体の「表示ランプ」が赤点滅するときは、各フィルターを水洗いしてください。→(P.19~21)
- パワーヘッドの回転ブラシに異物を挟み込んでいることがあります。
異物を取り除いてください。→(P.22,23)

充電のしかた

ご使用前に充電してからお使いください。お買い上げ時は電池が十分に充電されていません。
充電時間は約3.5時間です。(周囲温度・使用時間などのご使用条件により、充電時間が異なる場合があります)

1

充電台の電源プラグをコンセントに差し込む

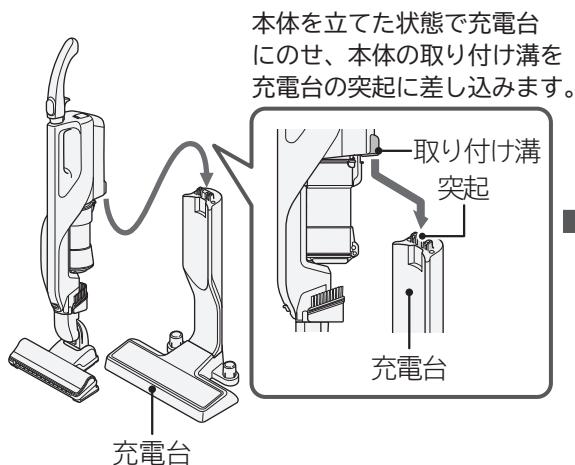


2

本体を充電台にセットする

お願い 本体にパワーヘッドを取り付けた状態で充電してください。

- 伸縮パイプを縮めてください。→(P.10)
- 本体の取り付け溝を充電台の突起に差し込みます。
- 充電台に本体がセットされると、表示ランプが緑点灯した後に赤点灯に変わります。→(P.8)
- 充電が完了すると、表示ランプが消灯します。



表示ランプ 充電の状態を表示ランプでお知らせします。

表示ランプ	充電状態
赤 点灯	充電中です。 充電時間は約3.5時間ですが、周囲温度・使用時間などにより、電池の温度が高くなった場合、充電に適した温度になるまで、自動的に待機するため、充電時間が長くなることがあります。
赤 消灯	充電完了(満充電) 充電が完了すると消灯します。

表示ランプが赤点滅したり、赤/緑交互に点滅する場合は異常です。→(P.26)

- 初めてお使いのときや長期間お使いにならなかったときは、運転時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。
- 長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。再度ご使用の際は、電池残量が少なくなっている場合があるため、ご使用前にもう一度充電し直してください。
- 表示ランプが消灯(充電完了)しているときに、一度本体を充電台から外してすぐに充電台に戻すと、表示ランプが赤点灯(充電中)しますが、異常ではありません。
- 充電中、本体や充電台が熱くなりますが、異常ではありません。
- 充電中に運転スイッチを押しても、本体は運転しません。

お願い

- 室温が5°C以上35°C未満のところで充電してください。室温が低い場合や直射日光が当たるなど高温の場所では、正しく充電されず運転時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。また、3時間以上高温または低温の場所で充電すると、表示ランプが赤点滅(1秒間に約2回)します。その場合は、室温が5°C以上35°C未満のところで充電し直してください。
- 表示ランプが赤点灯しないときや、すぐに消灯するときは、本体を持ち上げて、充電台にセットし直してください。
- ラジオの近くで充電すると雑音が入り、放送が聞きにくくなることがあります。
充電台とラジオを離れたコンセントに差し込み、2m以上離して充電してください。

電池を長持ちさせるために

- 使用時間にかかわらず、掃除が終わった後は充電してください。
- 1か月以上使わないときは、満充電にして保管し、1年に1回は充電してください。
(電池残量がない状態で保管すると、電池の性能低下や寿命低下の要因になります)
- 掃除中に電池が切れて運転が停止したとき、再度運転スイッチを押すと少し運転することがあります。このような操作を繰り返さないでください。電池寿命が短くなります。

運転のしかた

スティッククリーナーとして使う

1

本体を充電台から取り外す

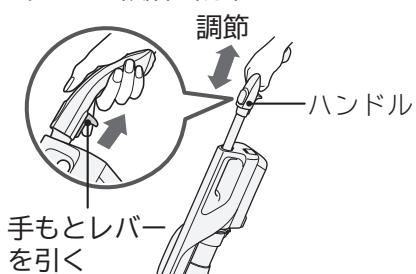
ハンドルを持ち、本体を上に引き上げます。



2

伸縮パイプの長さを調節する

手もとレバーを引きながら「カチッ」と音がするまで、伸縮パイプを伸ばす、または縮めます。パイプの長さは4段階に調節することができます。



警告

けがのおそれあり

- 手もとレバーを引くときは、本体とハンドルの間に手を置かない
手をはさむおそれがあります。
- パワーheadを床面から浮かせた状態で手もとレバーを引かない
本体が急に伸びてけがをするおそれがあります。



3

運転するときは 強/タボ または 標準/タボ を押す

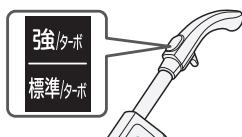
連続使用時間は「強」：約10分、「標準」（パワーhead有）：約40分、「標準」（パワーhead無）：約60分となります。

※寒いところでは運転時間が短くなる場合があります。

警告

けがをする、傷を付けるおそれあり

- ハンディクリーナーとしてご使用になるときは、伸縮パイプを縮め、ハンディハンドルを持ってご使用ください。
- 吸込口側を上に向けてお掃除するときは、ハンディハンドルを持ち、本体下部を支えて、両手でご使用ください。



4

止めたいときは 切 を押す



5

ご使用後は充電する →(P.9)

お掃除のしかた

スティッククリーナーとして使う

■床面に合った使いかた

パワー ヘッドを前後に動かしたり、床面に合った操作のしかたで、上手にお掃除ができます。

じゅうたん

前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。

初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。

フローリング・畳

床面の傷つき防止のため、フローリングや畳の目にそって動かします。

●新しい畳をお掃除する場合、畳表面に磨かれた跡が付くことがあります。

●パワー ヘッドを手前に引いたとき、床面にほこりが残る場合は、パワー ヘッドを一度持ち上げてほこりの手前側から吸い取ってください。



けがのおそれあり

パワー ヘッドを引くときに、体の一部(足の上など)に乗り上げない
回転ブラシに巻き込まれるおそれがあります。



床面に傷を付けるおそれあり

運転中はパワー ヘッドを同じ位置に止めたままにしない

パワー ヘッドを床面に強く押しつけない

●特にひのきやクッションフロア※などの傷つきやすい床の場合、
床面に傷や色を付けることがあります。

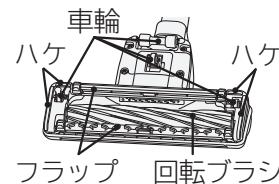
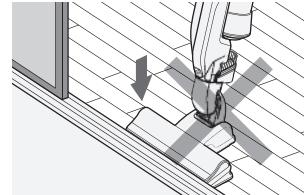
※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いた
クッション性のある床材のことです。

●敷居の段差などにパワー ヘッドを強く押しつけてご使用になると、
車輪などが摩耗したり、床面に傷を付けることがあります。

●車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、摩耗と床傷つけの
原因となります。

定期的なお手入れ(月1回程度)をしてください。→(P.22、23)

●長期間のご使用などで、「ハケ、車輪、フランプ、回転ブラシ」が摩耗
することがあります。摩耗したままパワー ヘッドをご使用になると、
床面に傷を付けることがあります。「ハケ、車輪、フランプ」は、お客様
ご自身では交換できないため、お買い上げの販売店またはご相談窓口
にご相談のうえ、持ち込み修理にて「ハケ、車輪、フランプ、回転ブラシ」
の同時交換をおすすめします。→(P.29)「回転ブラシ」は別売り部品
としてご購入のうえ交換いただけます。→(P.30)



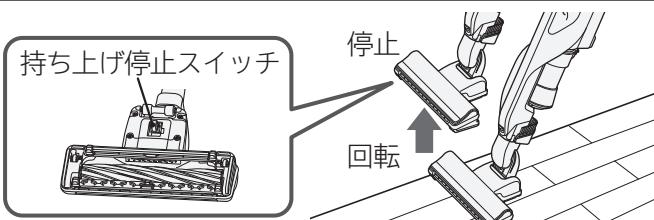
●毛足の長いじゅうたんなど床面の種類によっては、操作が重くなることがあります。このようなときは、「標準」運転に切り替えるか、伸縮パイプの長さを調節し、本体を寝かせて操作してください。

●吸込力が弱くなると、パワー ヘッドの吸込口にほこりが残ることがあります。このようなときは、各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。→(P.19~21)

●床面にパワー ヘッドの跡が残る場合がありますので、強く押し当てないでください。パワー ヘッドの跡がついた場合は、その場所でのご使用をお控えいただき、やわらかい布などで取り除いてください。

■パワー ヘッドの持ち上げ停止スイッチ

パワー ヘッドを床面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止スイッチが作動して、回転ブラシの回転が止まります。



持ち上げ停止スイッチ部のお手入れは→(P.22)



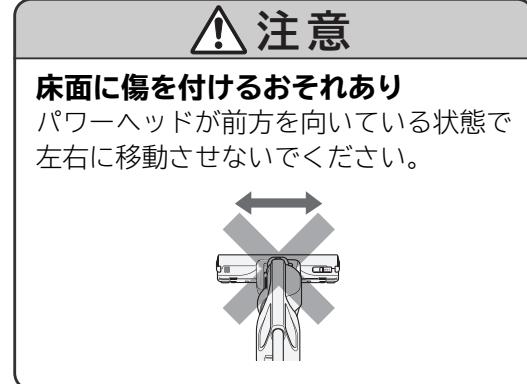
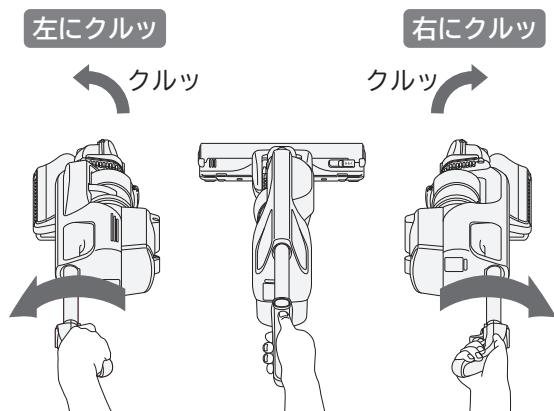
けがのおそれあり

パワー ヘッドの回転ブラシや持ち上げ停止スイッチには触れない
回転ブラシが回転することがあります。特にお子さまにはご注意ください。

お掃除のしかた(続き)

■ クルッとヘッド

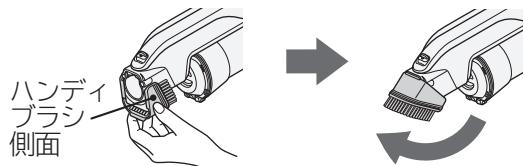
ハンドルをひねると、パワーヘッドの向きがクルッと変わり、すき間などの狭い場所もスムーズにお掃除できます。



ハンディクリーナーとして使う

ハンディブラシを使う

ハンディブラシの側面を持って矢印の方向に回転させ、先端に固定してください。



注意

けがをするおそれあり

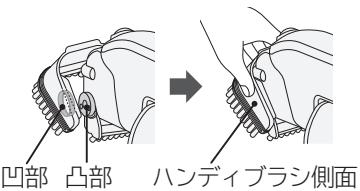
ハンディブラシを固定するときは、手を挟まないように側面を持って回転させてください。

傷を付けるおそれあり

ハンディブラシを使用せずに本体の先端で掃除をしないでください。また、ピアノなど特に傷つきやすい場所には押しつけないでください。

ハンディブラシが外れた場合

ハンディブラシの側面を持って、本体の凸部とハンディブラシの凹部をはめあわせてください。



反対側が外れた場合も同様の手順で取り付けてください。

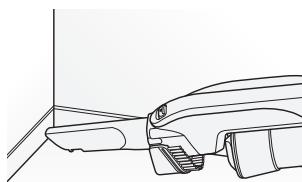
お願ひ

ハンディブラシを強くぶつけないでください。
本体から外れる場合があります。

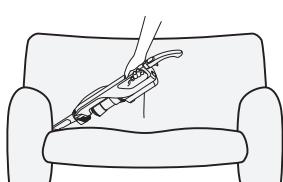
すき間用吸口を使う

狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。

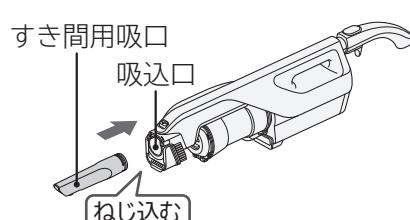
お部屋の隅のお掃除に



ソファーの隅などのお掃除に

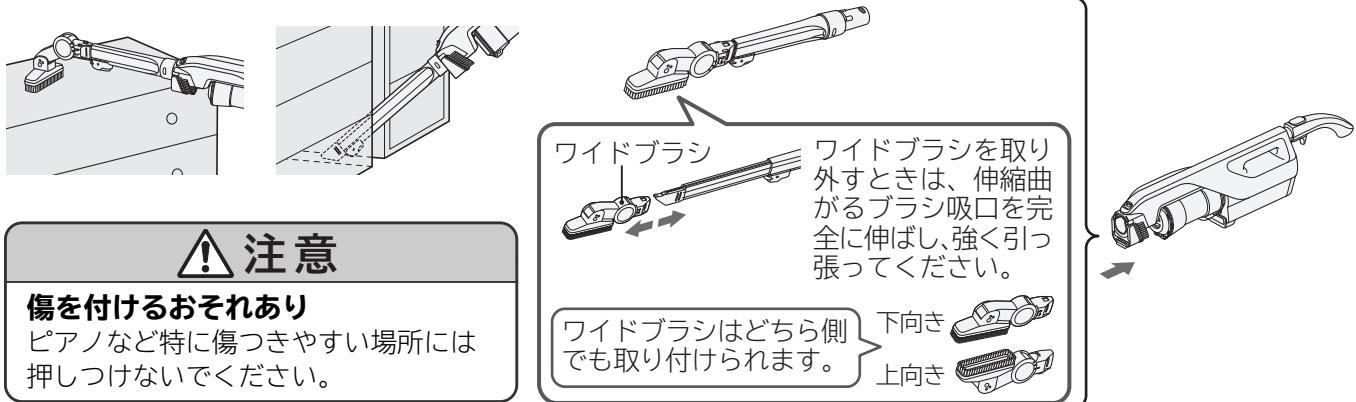


本体の吸入口にねじ込んでご使用ください。

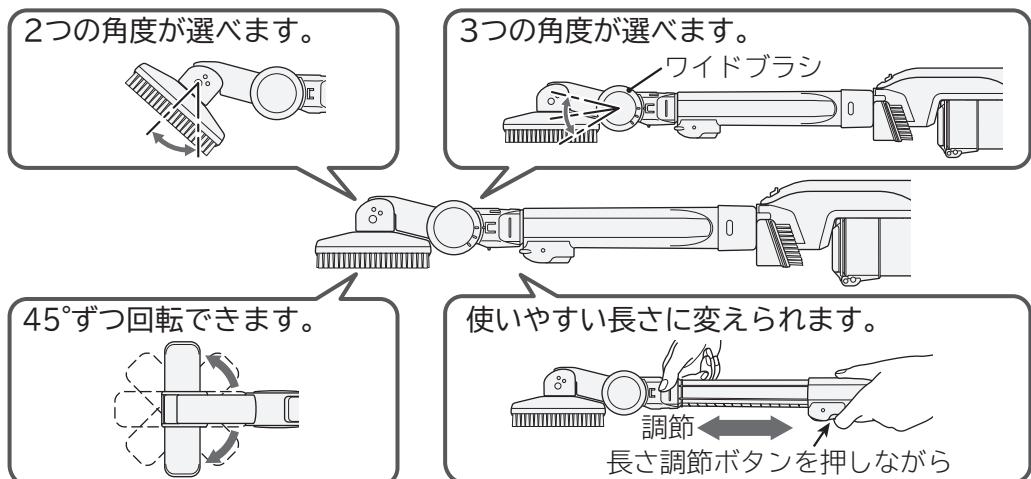


伸縮曲がるブラシ吸口を使う

家具の上やすき間の奥まで届く、先が細い伸縮自在の吸口です。



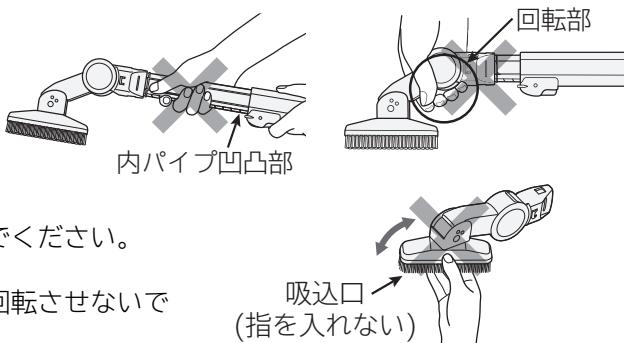
お掃除する場所に合わせ、様々な角度や長さに変えられます。



！注意

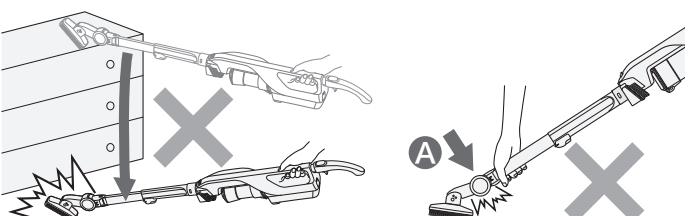
けがのおそれあり

- 運転中に長さ調節ボタンを押さないでください。伸縮曲がるブラシ吸口が急に縮むことがあります。
- 伸縮曲がるブラシ吸口を縮めるときは、内パイプの凹凸部を持たないでください。手をはさむおそれがあります。
- 角度を変えるときは、回転部を持たないでください。手をはさむおそれがあります。
- ワイドブラシの吸入口に指を入れたまま回転させないでください。指をはさむおそれがあります。



お願い

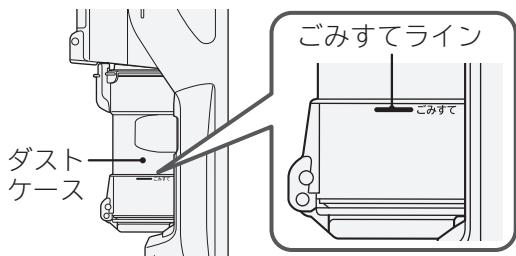
- 伸縮曲がるブラシ吸口をご使用の際は、次のことにご注意ください。
無理な力を加えると破損するおそれがあります。
 - ・すき間や隅以外の床面には使用しないでください。
 - ・高所から落させたり、Aの矢印の方向に無理な力を加えないでください。
 - ・長さを変えるときは、長さ調節ボタンを押しながら伸縮させてください。
- 伸縮曲がるブラシ吸口は水洗いができます。水洗い後は、陰干しにして十分に自然乾燥させてからご使用ください。ぬれたままご使用になると、異臭や故障の原因となります。
- ワイドブラシの先端や内側に綿ごみなどが詰まっている場合は、吸込力が低下しますので、ごみを取り除いてください。



ごみの捨てかた

サイクロン式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくためには、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

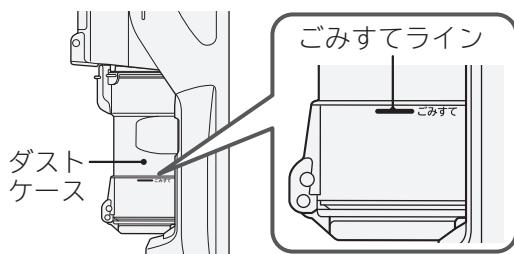
- ダストケースのごみは、「ごみすてライン」（目安）を超える前に捨ててください。「ごみすてライン」を超えると、ごみが出にくい場合があります。
- ごみの種類やたまりかたによっては、ごみが回転しない場合がありますが、異常ではありません。



お願い ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上ることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

ごみすてラインの確認のしかた

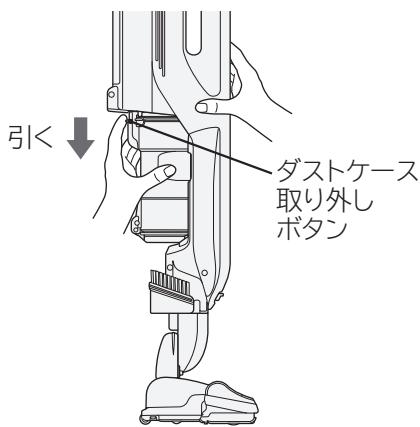
ダストケース内のごみが「ごみすてライン」を超えていないか確認する



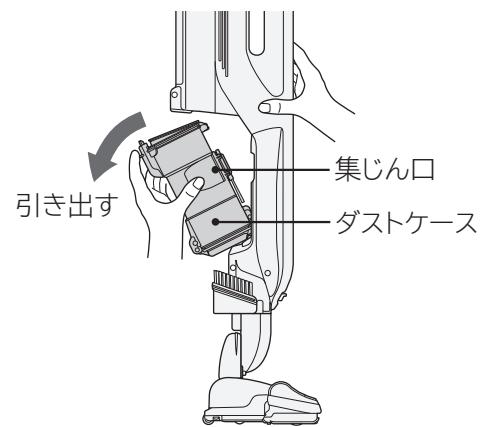
- ごみ捨ての際は、「ダストケース」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。→(P.15、16)
- 内筒フィルターにごみが巻き付いて取れない場合は、内筒フィルターを取り外してお手入れしてください。→(P.17)

ダストケースの取り外しかた

1 ダストケースを持ち、ダストケース取り外しボタンを引く



2 ダストケースを矢印方向に引き出す



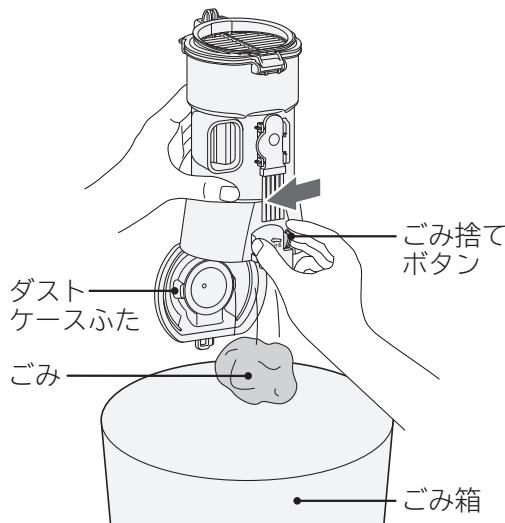
お願い

- 本体を寝かせた状態でダストケースを取り出さないでください。ごみがこぼれる場合があります。
- 本体内にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いてから元どおりダストケースを取り付けてください。
- ダストケースを持つときや置くときは、集じん口を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。

ダストケースのごみの捨てかた

1 ダストケースふたを開け、ごみを捨てる

ダストケースふたを下方に向けて、ごみ捨てボタンを押します。

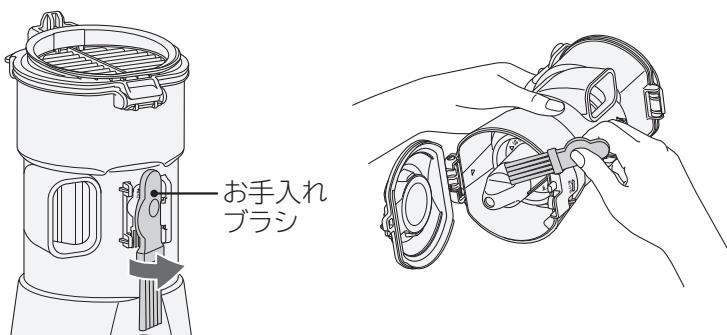


お願い

ごみの種類やたまりかたによっては、ごみが出にくい場合があります。ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

2 付着したごみを取り除く

- 1 ダストケース背面に取り付けられているお手入れブラシを取り外す
- 2 お手入れブラシでごみやほこりを取り除く



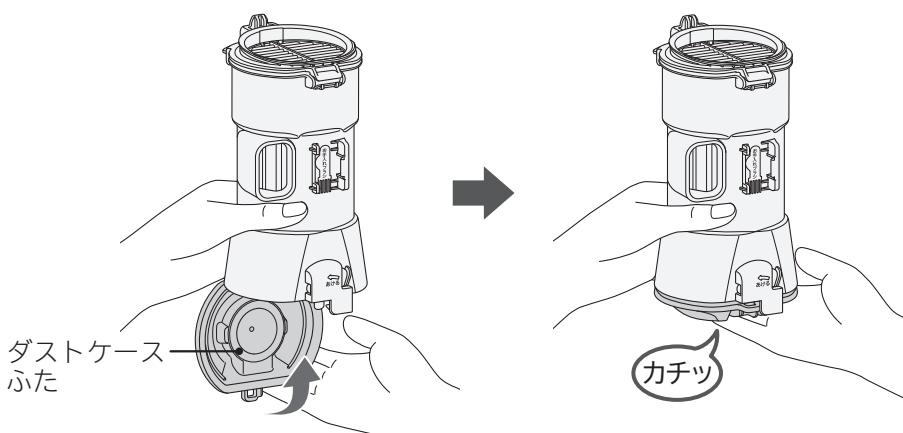
注意

けがのおそれあり

ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

3 ダストケースふたを閉める

「カチッ」と音がするまで閉める



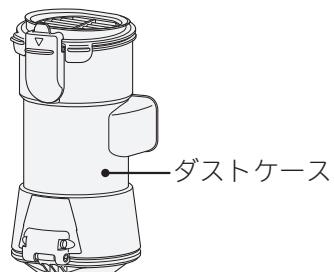
お手入れのしかた(通常のお手入れ)

各フィルターのお手入れのしかた

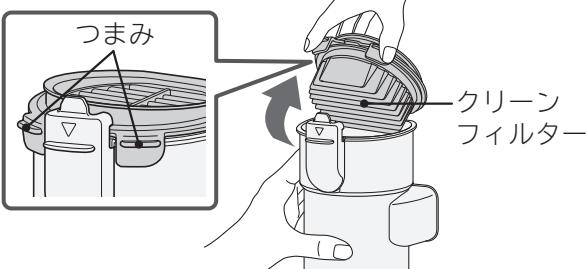
クリーンフィルター

1 クリーンフィルターを開ける

1 ダストケースを置く

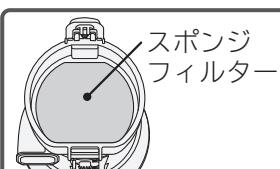


2 ダストケース下部をおさえながら、クリーンフィルターのつまみを上に持ち上げて、矢印の方向に開ける



2 クリーンフィルターのごみを取り除く

1 クリーンフィルターを取り外す



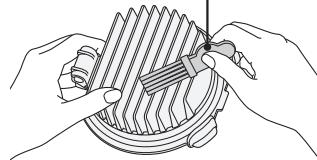
スponジフィルターの汚れが気になるときは、お手入れ(水洗い)してください。
→P.20

お願い

お手入れした場合は、スponジフィルターを必ず取り付けてください。



2 付着したごみをお手入れブラシで取り除く お手入れブラシ



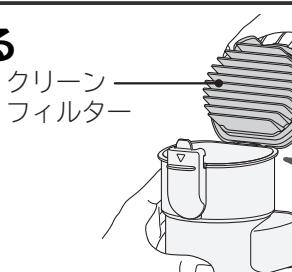
お願い

●ごみを取り除くときは、クリーンフィルターを床面などでたたかないでください。破損の原因となります。
●お手入れするときは付属のお手入れブラシを使用してください。

ごみを取り除いても汚れが気になるとき、または吸込力が弱いときは、お手入れ(水洗い)してください。→(P.20)

3 クリーンフィルターを取り付ける

取り外した逆の手順で取り付けてください。

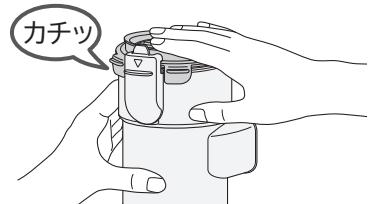
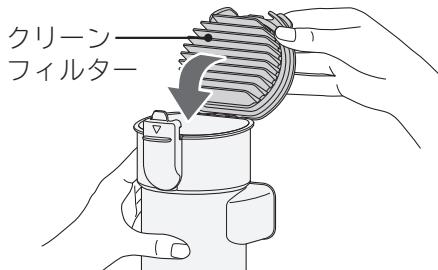


4 クリーンフィルターを閉める

クリーンフィルターを「カチッ」と音がするまで閉めてください。

お願い

スponジフィルターがあることを確認してください。

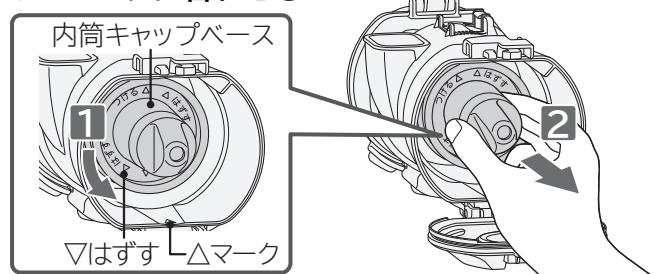


内筒フィルター・内筒キャップ

1

ダストケースふたを開け→(P.15)、内筒フィルターを取り外す

- 1 内筒キャップベースの「▽はずす」をダストケースの△マークに合わせる
- 2 内筒フィルターをまっすぐ引き抜く



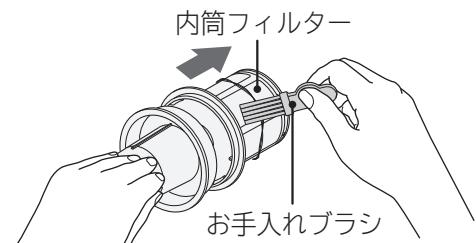
お願い

引き抜くときにごみがこぼれる場合があります。新聞紙などの上で外してください。

2

内筒フィルターのごみを取り除く

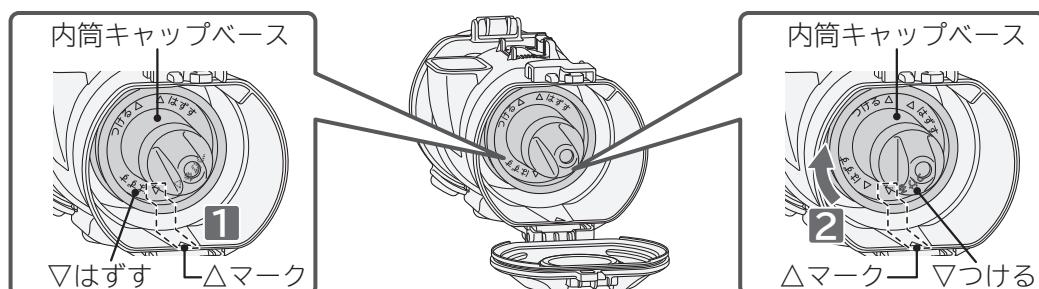
内筒フィルターに絡みついたごみは、お手入れブラシで矢印の方向にずらすと、楽に取り除くことができます。



3

内筒フィルターを取り付け、ダストケースふたを閉める→(P.15)

- 1 内筒キャップベースの「▽はずす」をダストケースの△マークに合わせる
- 2 内筒キャップベースの「▽つける」をダストケースの△マークまで「カチッ」と音がするまで回す

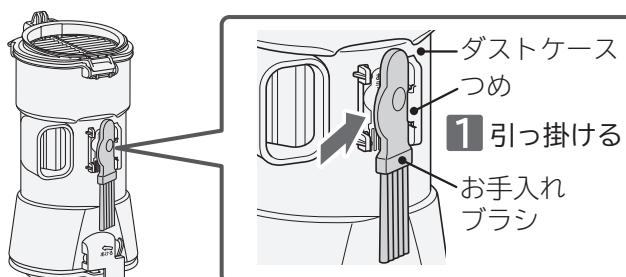


お願い 内筒フィルターはしっかりと取り付けてください。ごみ捨ての際に、内筒フィルターが落下したり、しっかりと取り付けていない状態で本体を運転した場合、内筒フィルター付近から異音がすることがあります。

4

お手入れブラシをダストケース背面に取り付ける

- 1 お手入れブラシをダストケースのつめに引っ掛ける
- 2 お手入れブラシのつまみを「カチッ」と音がするまでしっかりと取り付ける



お願い お手入れブラシがダストケース背面にしっかりと取り付けられていない状態でダストケースを本体に取り付けて運転した場合、ダストケースからお手入れブラシが外れる場合があります。お手入れブラシは、ダストケース背面に奥までしっかりと取り付けてください。

お手入れのしかた(通常のお手入れ)(続き)

こんなときは

内筒キャップにごみがたまる

1 内筒フィルターを取り外す →(P.17)

2 内筒キャップを取り外す

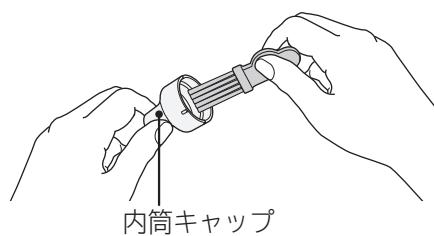
内筒キャップベースを持ち、内筒キャップを矢印の方向に回して取り外してください。

お願い 内筒キャップが取り外しにくいときは、内筒キャップをにぎるように持つと楽に取り外すことができます。



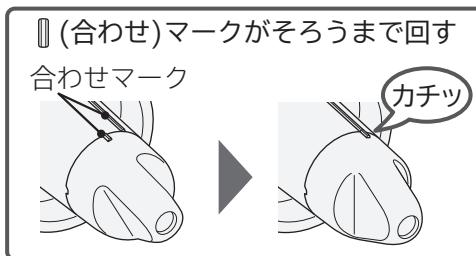
3 内筒キャップのごみを取り除く

内筒キャップにたまつたごみは、お手入れブラシでかき出すようにお手入れしてください。



4 内筒キャップを取り付ける

取り外した逆の手順で、「カチッ」と音がして ॥(合わせ)マークがそろうまで回してください。



お願い 内筒キャップは取り付けて運転してください。

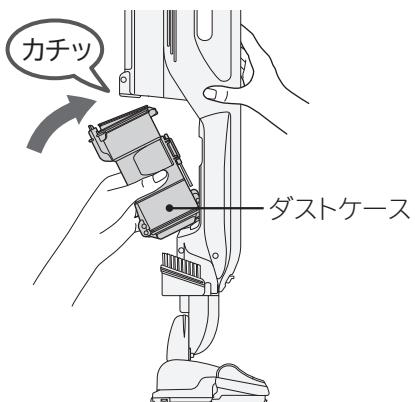
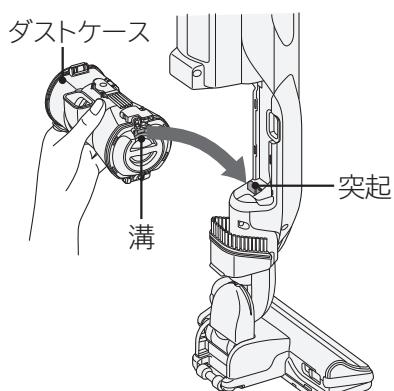
5 内筒フィルターを取り付ける →(P.17)

ダストケースの取り付けかた

ダストケースを取り付ける

1 ダストケースの溝を、本体の突起に引っ掛ける

2 ダストケースを「カチッ」と音がするまでしっかり取り付ける



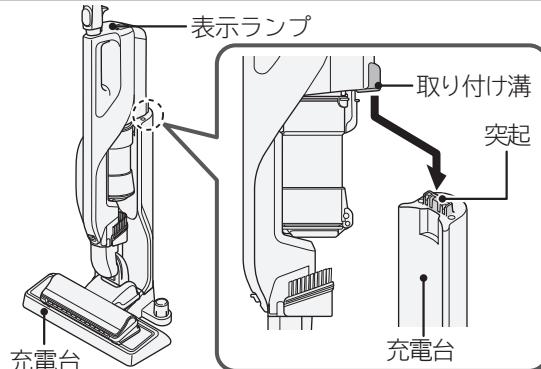
あとかたづけ

収納のしかた

- 1 本体の「切」ボタンを押して、運転を止める →(P.10)
- 2 手もとレバーを引きながら、伸縮パイプを縮める →(P.10)
- 3 本体の取り付け溝を、充電台の突起に差し込む →(P.9)

運転したまま充電台にセットすると、運転が止まり、充電を開始します。

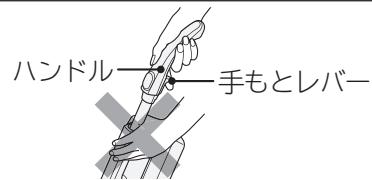
お願い 本体にパワー ヘッドを取り付けた状態で収納してください。



!**警告**

けがのおそれあり

手もとレバーを引くときは、本体とハンドルの間に手を置かないでください。
手をはさむおそれがあります。



!**注意**

けが・床面に傷を付けるおそれあり

- 充電台にセットした状態のままで持ち運ぶと、本体が外れることがあります。
- 充電台にセットしたまま床の上を移動させないでください。
- 本体を自立させたまま放置しないでください。

お手入れのしかた(水洗い)

強い吸込力でお掃除していただくため、こまめなお手入れをおすすめします。

本体・標準付属品・付属応用部品

汚れが気になるときはお手入れしてください。やわらかい布に水を含ませ、よく絞ってからふいてください。

!**警告**

爆発・火災・感電・けがのおそれあり

- 充電台のお手入れの際は、充電台の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のお手入れの際は、充電台から本体を取り外してください。
- 引火性のもの、可燃物(シンナー、ベンジン)などを使用しないでください。

!**注意**

けがのおそれあり

本体のお手入れの際は、運転を止めてください。

お願い

アルコール、洗剤や化学ぞうきんなどを使用しないでください。ひび割れや変色の原因となります。

水洗いできる部品

クリーンフィルター →(P.20)、スポンジフィルター →(P.20)、内筒フィルター(内筒キャップベース・内筒キャップ)・ダストケース →(P.21)、回転ブラシ →(P.23)は水洗いができます。
それ以外の付属品・部品は水洗いができません。

各フィルターを水洗いしたときは、陰干しにして十分に自然乾燥させてください。クリーンフィルター、スポンジフィルター、回転ブラシの乾燥には約24時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

お願い

お手入れの際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でお手入れをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

お手入れのしかた(水洗い)(続き)

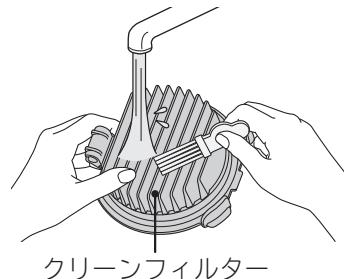
各フィルターのお手入れのしかた

「表示ランプが赤点滅(1秒間に約2回)した」、「吸込力が弱くなった」ときは、水洗いしてください。

クリーンフィルター・スポンジフィルター

1 お手入れブラシで水洗いする

- 付着しているごみは、軽く落としてから水洗いしてください。
- クリーンフィルターを取り外して水洗いしてください。
→(P.16)
- クリーンフィルターのひだの奥にたまつたごみを水で流してください。



△注意

けがのおそれあり

ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。
注意してお手入れしてください。

お願い

お手入れするときは付属のお手入れブラシを使用してください。

2

スポンジフィルターを水で軽く押し洗いする



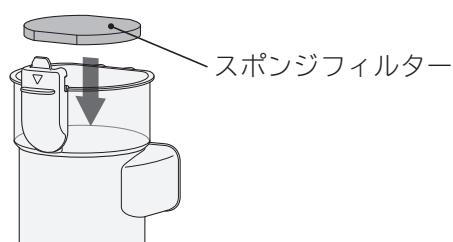
3

自然乾燥させる

- 陰干しにして十分に自然乾燥させてください。クリーンフィルター、スポンジフィルターの乾燥には約24時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)
- ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
性能の低下や破損・変形の原因となります。

4

スポンジフィルターを取り付ける



お願い

- スポンジフィルターは必ず取り付けてください。フィルターの早期目詰まり、異音発生の原因となります。
- 水洗い後は、陰干しにして十分に自然乾燥させてから取り付けてください。ぬれたままでご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。

5

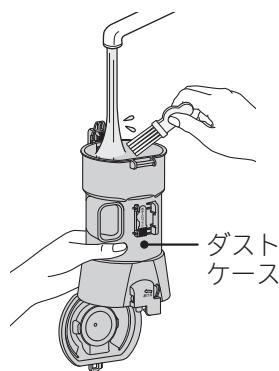
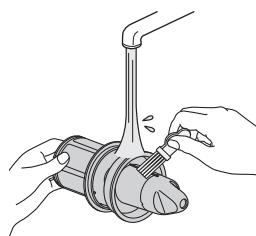
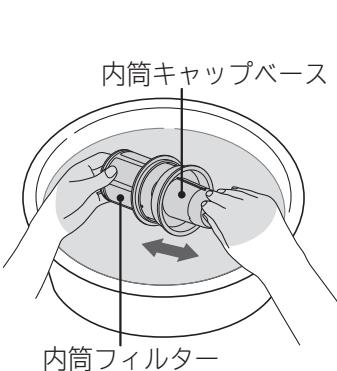
クリーンフィルターを取り付ける→(P.16)

内筒フィルター・内筒キャップ

1 内筒フィルターを取り外す→(P.17)

2 内筒フィルター・ダストケースを水洗いする

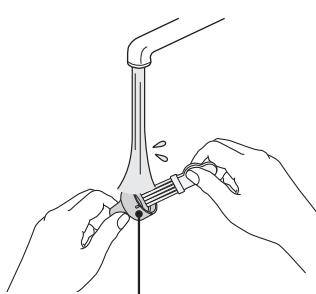
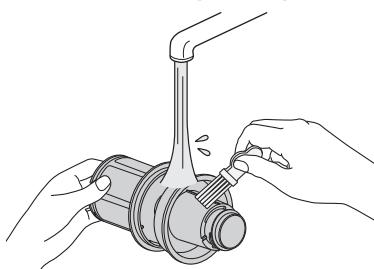
内筒キャップベース
を矢印の方向に
10回程度動かして
水洗いしてください。



こんなときは

内筒キャップベース、内筒キャップの中のごみが取れない場合

内筒キャップを取り外して→(P.18)、水洗いをする



お願い

- 付着しているごみは軽く落としてから水洗いしてください。
- 内筒フィルターは水洗い後によく水を切ってください。

3 自然乾燥させる

- 陰干しにして十分に自然乾燥させてください。
ぬれたままでご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。
- ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
性能の低下や破損・変形の原因となります。

4 内筒フィルターを取り付ける→(P.17)

お願い

- ダストケースおよび各フィルターは、取り付けて運転してください。モーター部にごみが侵入すると、本体内部のフィルターが目詰まりして、本体から異音が発生することがあります。

その場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。→(P.29)

- 各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、クリーンフィルター、スポンジフィルターなどの劣化が考えられます。取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。→(P.29、30)

お手入れのしかた(パワーHEAD)

- 吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。
- 定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。
持ち上げ停止スイッチ、回転ブラシ、ハケ、車輪、フラップ、空気取り入れ口、回動部にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

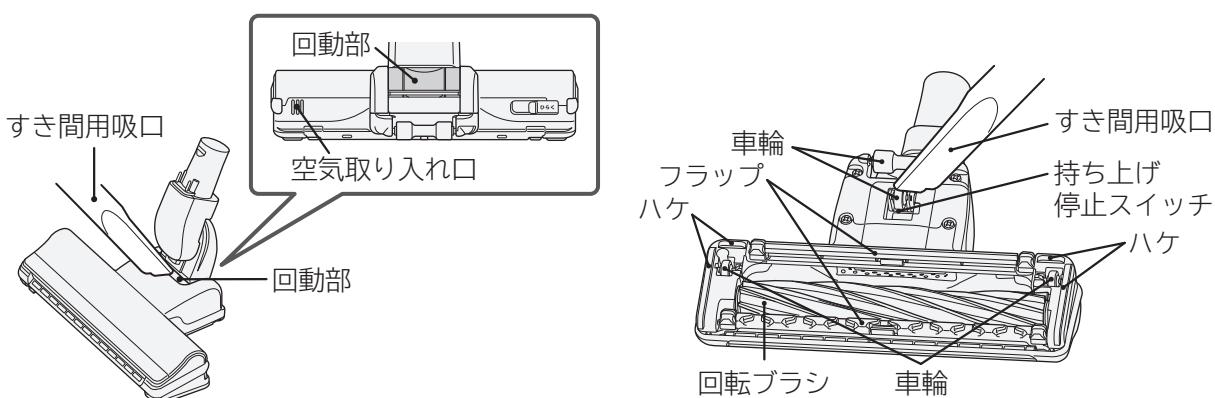
!**注意**

けがのおそれあり

お手入れの際は、本体から取り外してください。

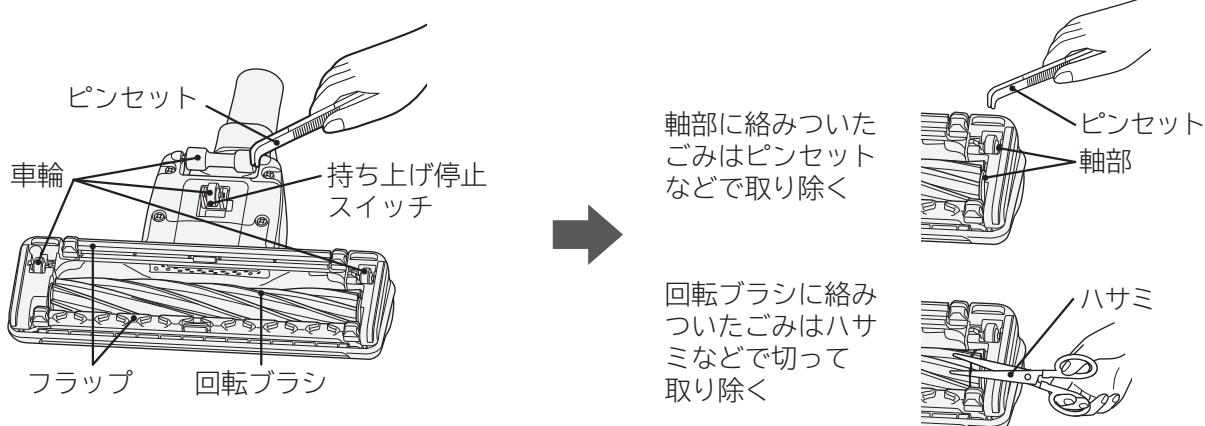
付着したごみを取り除く

付着したごみを、すき間用吸口を使って吸い取ってください。



絡みついたごみを取り除く

絡みついたごみを、ピンセットなどで取り除いてください。



!**注意**

床面に傷を付けるおそれあり

- 車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、摩耗と床傷つけの原因となります。
- 長期間のご使用などで、「ハケ、車輪、フランプ、回転ブラシ」が摩耗することがあります。
摩耗したままパワーHEADをご使用になると、床面に傷を付けることがあります。
「ハケ、車輪、フランプ」は、お客様ご自身では交換できないため、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談のうえ、持ち込み修理にて「ハケ、車輪、フランプ、回転ブラシ」の同時交換をおすすめします。→(P.29)
「回転ブラシ」は別売り部品としてご購入のうえ交換いただけます。→(P.30)

お願ひ

持ち上げ停止スイッチに無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

回転ブラシをお手入れする

1

ブラシホルダーを取り外す

1 パワーヘッドを裏返してレバーを開く



レバー

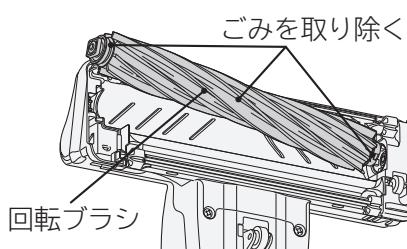
2 ブラシホルダーを取り外す



ブラシホルダー

2

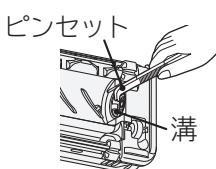
回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く



ごみを取り除く

回転ブラシ

溝に絡みついたごみは
ピンセットなどで取り除く



ピンセット

溝

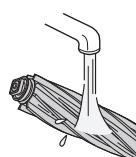
回転ブラシに絡みついた
ごみはハサミなどで切つ
て取り除く



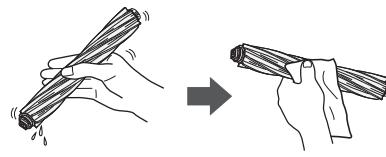
ハサミ

回転ブラシを水洗いする場合

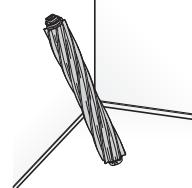
1 水洗いする



2 振って水気を切る



3 十分に自然乾燥させる



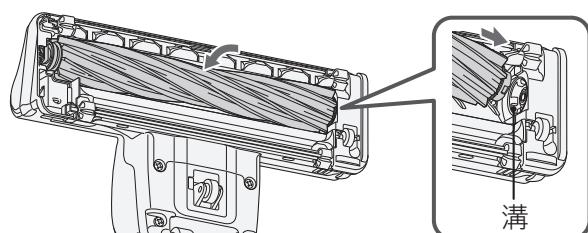
立てかけて、
陰干しにする

お願い

- 洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形などの原因となります。
- 水洗いした場合は、陰干しにして十分に自然乾燥させてから取り付けてください。
乾燥には約24時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

3

回転ブラシを溝に合わせ、元どおり取り付ける

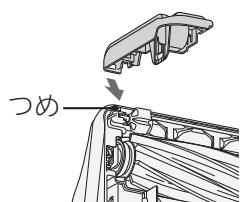


溝

4

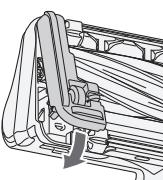
ブラシホルダーを取り付ける

1 つめを引っ掛ける



つめ

2 ブラシホルダーを取り付ける



3 レバーを閉める



お願い

- ブラシホルダーを取り付ける際には、つめを先に引っ掛けてください。破損の原因となります。

お困りのとき

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

本体が運転しない、または運転中に止まる。パワーHEADの回転ブラシが止まる

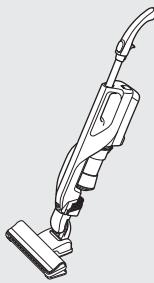
保護装置が作動している場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。

本体が運転しない、または運転中に止まる

パワーHEADの回転ブラシが止まる

保護装置と原因

本体モーターおよび電池の過熱を防ぐために、自動的に電力を抑える保護運転になり、吸込力が弱くなる場合があります。



表示ランプが「赤点滅」(1秒間に約2回)している

クリーンフィルター、スポンジフィルターのごみ詰まり
→①へ

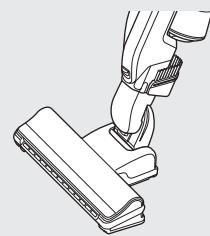
吸込口または本体風路をふさいだままの運転
→②へ

表示ランプが「赤く遅点滅」(2秒間に約1回)している

電池の温度が高い
→③へ

本体モータの温度が高い
→③へ

回転ブラシに異物を挟み込んだ状態で運転を続けると、モーターの過熱を防ぐために、自動的に回転ブラシの回転を停止します。



表示ランプが「赤点滅」(1秒間に約2回)している

クリーンフィルター、スポンジフィルターのごみ詰まり
→①へ

吸込口または本体風路をふさいだままの運転
→②へ

表示ランプが「緑点灯」している

異物の挟み込み
→④へ

床やじゅうたんなどへの押しつけ
→⑤へ

さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。
※表示ランプは「消灯」します。

直しかた

本体の ボタンを押して、運転を止める

①

ごみ捨て/ダストケース・各フィルターのお手入れをする
→(P.14~21)

②

吸込口または本体風路をふさいでいるものを取り除く

③

本体を冷ます

④

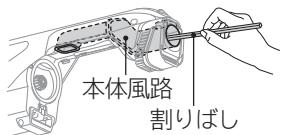
回転ブラシに挟み込んだ異物を取り除く
→(P.22、23)

⑤

パワーHEADを床やじゅうたんに強く押しつけない

約5分後~60分後に保護装置が解除され、
通常運転(表示ランプは「緑点灯」)でご使用いただけます。

■ その他の症状

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
運転中に吸込力が弱くなる、または運転中に止まる (表示ランプが「緑点滅」する)	電池の残量が少なくなっていますか。 [表示ランプが「緑点滅」する]	充電してください。	P.9
	排気が異常に熱くなっていますか。	「切」ボタンを押して運転を止め、本体が冷めてから、再び運転してください。	—
	直射日光の当たる場所、炎天下の車内など温度が高い使用環境で「強」の連続運転を行うと、本体モーターおよび電池の過熱を防ぐため、保護装置が作動し、吸込力が弱くなる場合があります。		P.24
運転中に吸込力が弱くなる、または運転中に止まる (表示ランプは「赤点滅」(1秒間に約2回)する)	ダストケースのごみがいっぱいになっていますか。	ダストケースのごみを捨ててください。	P.14 P.15
	各フィルターにごみが付着していますか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.16～ P.21
	本体風路にごみが詰まっていますか。	割りばしなどでごみを取り除いてください。 	—
運転音が大きくなった	パワー ヘッドにごみが詰まっていますか。	ごみを取り除いてください。	P.22 P.23
	細かい砂ごみ、土ぼこりなどを吸わせていませんか。	ダストケースのごみを捨て、各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.14～ P.21
運転しない、または運転中に止まる	電池の残量が少なくなっていますか。	充電してください。	P.9
	充電中ではありませんか。	充電台から取り外してください。	—
	電池の温度が高くなったり、電池の過熱を防ぐため、本体が自動的に停止することがあります。表示ランプは「赤く遅点滅(2秒間に約1回)」します。	本体が冷めてから、再び運転してください。	P.24
充電しても運転時間が短い	室温が5°C未満または35°C以上になっていますか。	室温が5°C以上35°C未満のところで運転・充電してください。	P.9
	寒いところで運転していますか。	室温が5°C以上35°C未満のところに本体をしばらく置き、再び運転してください。	—
	長期間、充電台から外したまま本体を放置していましたか。	電池の容量が一時的に回復しにくくなっていることがあります。運転が止まるまで使用し、再度充電完了まで充電する操作を2～3回繰り返してください。	P.9
	電池が消耗していますか。	正しく充電し、各フィルターのお手入れや水洗いをしても、運転時間が著しく短い場合は、電池が消耗しています。お買い上げの販売店またはご相談窓口へご相談ください。	P.14～ P.21 P.29
排気や本体があたたかくなる(運転中)	空気の流れでモーターを冷却しているため、異常ではありません。		—
本体や充電台があたたかくなる(充電中)	制御回路に電流が流れるためあたたかくなりますが、異常ではありません。		—
排気から異臭がする	各フィルターにごみが付着していますか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.19～ P.21
	水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではありませんか。	水洗い後は、陰干しにして十分に自然乾燥させてください。	
ダストケース付近から異音が出る	ダストケース、クリーンフィルター、内筒フィルターが確実に取り付けられていますか。	確実に取り付けてください。	P.16～ P.18
	本体風路にごみが詰まっていますか。	割りばしなどでごみを取り除いてください。	—
ダストケースのごみが回転しない	ごみの種類やたまりかたによっては、ごみが回転しない場合がありますが、異常ではありません。		—

お困りのとき(続き)

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
ダストケースを取り外した際、ごみが本体からこぼれる	ダストケースのごみが、ごみすてラインを超えていませんか。	ごみすてラインを超える前に捨ててください。	P.14 P.15
パワー ヘッドの回転 ブラシが止まる または回転しにくい	電池の残量が少なくなっていますか。[表示ランプが「緑点滅」する]	充電してください。	P.9
	本体にパワー ヘッドが確実に取り付けられていますか。	確実に取り付けてください。	P.2
	パワー ヘッドが床面から浮いていませんか。	床面から浮かせると止まる構造になっています。パワー ヘッドを床面に付けてください。	P.11
	回転ブラシ、持ち上げ停止スイッチなどにごみなどが付着していませんか。	ごみを取り除いてください。	P.22 P.23
パワー ヘッドの回転ブラシが止まり、LEDライトが消灯する [表示ランプは「赤点滅」(1秒間に約2回)する]	パワー ヘッドのモーターの過熱を防ぐため、自動的に回転ブラシを停止することがあります。	ダストケースのごみを捨て、各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。吸込口をふさいでいるものを取り除いてください。	P.14～ P.21 P.24
LEDライトが暗い	電池の残量が少なくなっていますか。	充電してください。	P.9
パワー ヘッドからカラカラと音がする	持ち上げ停止スイッチの構造上、発生する音です。異常ではありません。	—	—
本体を充電台にセットしても、表示ランプが赤点灯しない	電池の温度が高くなったときは、保護装置が作動し、表示ランプが消灯することがあります。	異常ではありません。 電池の温度が下がると、表示ランプが赤点灯します。	—
	室温が5°C未満になっていますか。 電池の温度が低くなったときは、保護装置が作動し、表示ランプが消灯することがあります。	室温が5°C以上のところで充電してください。	P.9
	充電台の電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	しっかり差し込んでください。	P.9
	本体が充電台に確実にセットされていますか。	確実にセットしてください。	
	充電が完了していませんか。	充電が完了すると、表示ランプは消灯します。	
	充電台または本体の金属端子部が汚れていませんか。	乾いた布で端子の汚れを取り除いてください。	—
	長期間、充電せずに本体を運転しない状態で放置ませんでしたか。放置していたときは、電池の性能や寿命が低下することがあり、電池の交換が必要な場合があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口へご相談ください。	—	P.29
本体を充電台にセットすると、表示ランプが赤点滅する	室温が5°C以上35°C未満のところで充電してください。それでも表示ランプが赤点滅する場合は、制御回路の故障または電池が消耗しています。 お買い上げの販売店またはご相談窓口へご相談ください。	—	P.29
本体を充電台にセットすると、表示ランプが赤/緑交互に点滅する	充電台の故障です。 充電台から本体を外して、お買い上げの販売店またはご相談窓口へご相談ください。	—	P.29
充電時間が長い	充電台にセットしたとき、本体が熱くなっていますか。	保護装置が働いていたため、異常ではありません。充電が完了すると、表示ランプが消灯します。	P.9
	室温が5°C未満または35°C以上になっていますか。	室温が5°C以上35°C未満のところで充電してください。	P.9
確認してもまだ異常がある場合	—	ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店またはご相談窓口へご相談ください。	P.29

電池の交換と製品の廃棄のしかた

危険



- 電池は、本機以外の機器に接続しない
また、電池を分解・改造・はんだ付けしたり、単独で充電しない
修理技術者以外の人は電池の交換をしない
漏液・発熱・破裂・発煙・発火・感電・けがの原因となります。
- 一度、電池の取り外しを試みた本体は使用しない(ねじの取り外しなどを行ったもの)
- 本体を運転した状態では電池を取り外さない
発煙・発火・感電・けがの原因となります。

電池の交換

電池は消耗品です。正しく充電しても使用時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。電池を交換してください。電池の寿命などにより、電池を交換する際は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。→(P.29)

お客様のご要望により、部品交換いたします。部品代のほかに交換作業費がかかります。

電池の交換目安は、繰り返し充放電約1,100回です。

●繰り返し充放電の当社基準による試験の場合。

●電池の寿命は周囲の温度、使用頻度など、お使いの環境・条件によって異なります。

製品の廃棄

電池を取り外す人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全上のご注意(P.4~7)をよくお読みのうえ、製品を廃棄してください。

電池のリサイクル(製品を廃棄するとき)

この製品にはリチウムイオン電池が使用されています。

リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。



製品を廃棄するときは、以下の手順で電池を外し、お買い上げの販売店、またはリサイクル協力店へお持ちいただくか、お住まいの自治体にお問い合わせのうえ、リサイクルにご協力ををお願いいたします。※自治体により、回収のルールが異なります。

電池の取り外しかた(製品を廃棄するとき)

電池を取り外すときは、右記の物を準備し、手順に従い正しく作業してください。

【準備するもの】
プラスドライバー、ニッパ
ビニールテープ

1

本体が完全に動かなくなるまで電池を使い切る

運転スイッチを押して、表示ランプが点灯しないことを確認してください。



感電・けがのおそれあり

電池を使い切っていないと、電池を取り出す際に、モーターが動くことがあります。

2

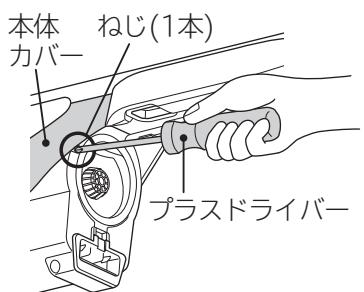
手もとレバーを引きながら伸縮パイプを縮め→(P.10)、ダストケース→(P.14)、パワーHEADを外す→(P.2)

電池の交換と製品の廃棄のしかた(続き)

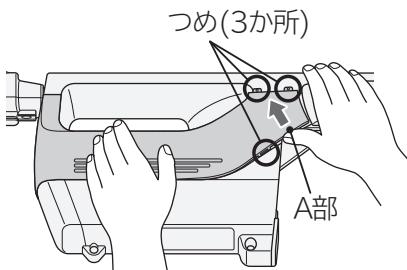
3

本体力バー、電池カバーを取り外す

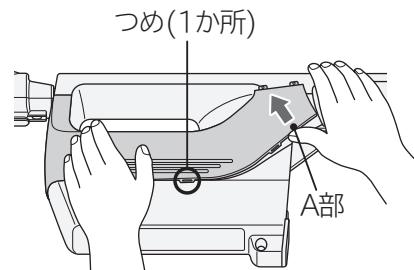
- 1 本体力バーのねじ1本を
プラスドライバーで外す



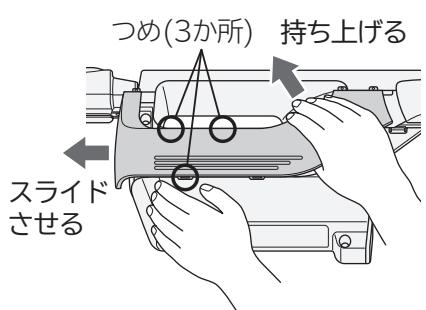
- 2 本体力バーのA部を矢印
の方向に下から押し上げ、
つめ3か所を外す



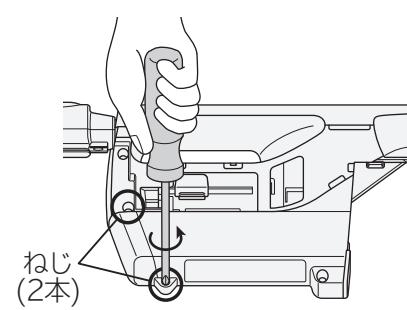
- 3 本体力バーのA部を矢印
の方向に押し上げ、
つめ1か所を外す



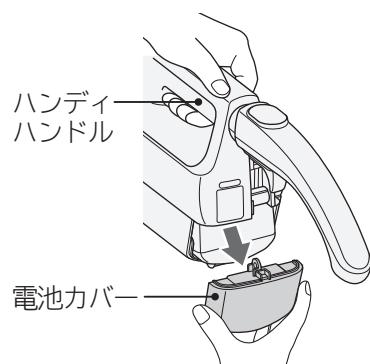
- 4 本体力バーを上に持ち上げ、
つめ3か所を外し、矢印の
方向にスライドさせて取り
外す



- 5 電池カバーのねじ2本を
プラスドライバーで外す



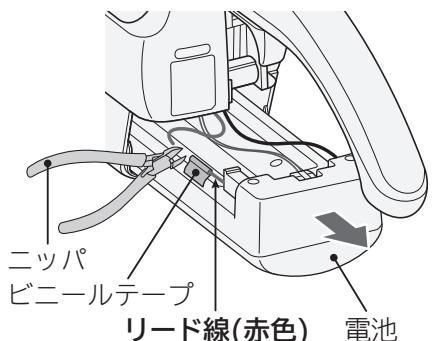
- 6 ハンディハンドルを持って、
電池カバーを矢印の方向へ
取り外す



4

電池を取り外す

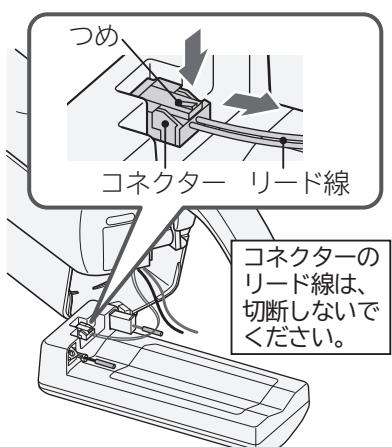
- 1 電池を取り出し、電池と
本体をつないでいる赤色
のリード線を、電池から
約2cmの位置でニッパ
などで切断し、ビニール
テープを巻いて絶縁する



- 2 黒色のリード線を、電池から
約2cmの位置でニッパなど
で切断し、ビニールテープを
巻いて絶縁する



- 3 コネクターのつめを強く
押しながら引き抜く



警告

火災・感電・けがのおそれあり

- 電池を取り出すときは、運転スイッチを押さないでください。
モーターが動くことがあります。
- リード線を切断するときは、1本ずつ別々に切断してください。

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

保証書

●この商品は保証書付きです。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。 ただし、電池やフィルター、ブラシなどは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。 [持込修理対象商品]
保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは（持込修理）

「お困りのとき」→(P.24~26)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

●修理を依頼されるため、販売店にお持ちの際は、標準付属品〔パワーヘッド、充電台(ベース、アーム)〕もご一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容

1.型式: PV-BJ700G 2.症状: できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
- 商品のデザイン、定格、仕様、補修用性能部品等は改良等のため、予告なく一部変更することがあります。

長年ご使用の掃除機の点検を！

愛情点検



ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- 電源コードが破損しているまたは異常に熱い
- こげくさい“におい”がする
- その他の異常がある

ご使用
中止

事故防止のため、
すぐに運転を止め、
充電台の電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

この製品の使い方・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください

なお、転居されたり、いただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。

https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/q_a/index.html

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

TEL 0120-3121-11

携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料)

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。

●「持込修理」については、上記窓口より各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。

●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。

日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」 <https://parts.hitachi-cm.com/pshop/>

長時間ご使用になると

●一日のご使用時間が極端に長い場合や、共同(寮など)でご使用になる場合には、短期間で部品の交換(パワーヘッドや、リチウムイオン電池など)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてご使用になることをおすすめします。

●このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居されるとき

●ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

●電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

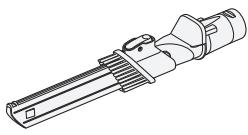
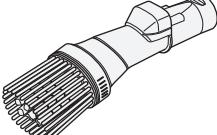
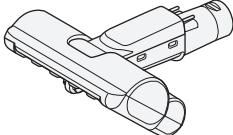
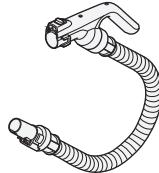
修理料金=技術料+部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
-----	--

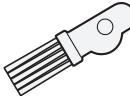
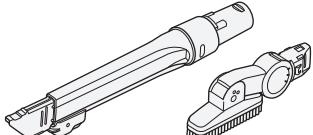
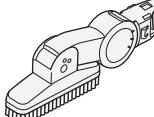
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
-----	--

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

2WAYすき間ブラシ	ほうきブラシ	ミニパワーHEAD
		
サービスパーツ PV-BFH900-017 2WAYすき間ブラシとご指定ください 希望小売価格 3,000円(税別)	サービスパーツ PV-BEH900-033 ほうきブラシとご指定ください 希望小売価格 3,800円(税別)	サービスパーツ PV-BEH900-030 ミニパワーHEADとご指定ください 希望小売価格 8,000円(税別)
ふとん用吸口		スマートホース
		
サービスパーツ PV-BF700-015 ふとん用吸口とご指定ください 希望小売価格 2,600円(税別)		サービスパーツ PV-BEH900-035 スマートホースとご指定ください 希望小売価格 6,400円(税別)

付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

回転ブラシ	お手入れブラシ	ダストケース(各フィルター付き)
		
サービスパーツ PV-BE700-020 ロータリブラシクミ(DP11)とご指定ください 希望小売価格 2,400円(税別)	サービスパーツ CV-S51R-001 お手入れブラシとご指定ください 希望小売価格 400円(税別)	サービスパーツ PV-BF700-006 ダストケースクミ(BF700)とご指定ください 希望小売価格 6,000円(税別)
内筒フィルター	スポンジフィルター	クリーンフィルター
		
サービスパーツ PV-BF700-008 メッシュフィルタークミ(BF700)とご指定ください 希望小売価格 1,920円(税別)	サービスパーツ PV-BF700-010 スポンジフィルターとご指定ください 希望小売価格 350円(税別)	サービスパーツ PV-BF700-009 クリーンフィルターとご指定ください 希望小売価格 1,200円(税別)
すき間用吸口	伸縮曲がるブラシ吸口(ワイドブラシ付き)	ワイドブラシ
		
サービスパーツ PV-BC500-043 すき間用吸口とご指定ください 希望小売価格 300円(税別)	サービスパーツ PV-BC500-040 伸縮曲がるブラシ吸口(D-SH7)とご指定ください 希望小売価格 5,000円(税別)	サービスパーツ PV-BC500-041 ワイドブラシ(SH7)とご指定ください 希望小売価格 1,500円(税別)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

●電池は消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

品名	充電式掃除機	
型名	PV-BJ700G	
定格電圧	DC21.6V	
公称容量	2,500mAh	
集じん容積	0.2L	
使用電池	リチウムイオン電池(セル数6本)	
本体 連続使用時間※	強:約10分、標準:約60分(パワーへッド無)(満充電、電池初期、20°C時) 標準:約40分(パワーへッド有)(満充電、電池初期、20°C時) ターボモード:約5秒間	
寸法	スティッククリーナー	長さ230mm×幅255mm×高さ785~1,015mm
	ハンディクリーナー	長さ690mm×幅95mm×高さ160mm
質量	スティッククリーナー	2.3kg
	ハンディクリーナー	1.8kg
充電台	入力	AC100V 50-60Hz 50VA
	出力	DC24.6V 0.8A
	充電時間	約3.5時間(室温や使用時間などにより異なります)
	コードの長さ	1.2m
	外形寸法	長さ205mm×幅310mm×高さ470mm
	質量	1.2kg
収納時寸法	長さ220mm×幅310mm×高さ840mm	
標準付属品	パワーへッド	1個 充電台(ベース、アーム)各1個
付属応用部品	すき間用吸口	1個 ワイドブラシ
	伸縮吸口	1個 お手入れブラシ

※使用時間は周囲温度などの条件で異なります。

「日立の家電品お客様サポート」のご利用

スマートフォンやパソコンで所有する家電品を一覧管理でき、お知らせやサポート情報などが入手できます。

サポート内容

- ▶ 使いかた動画
- ▶ 家電品の登録^{※1}
- ▶ お知らせ
- ▶ 取扱説明書
- ▶ よくあるご質問
- ▶ お問い合わせ

① コードを読み取る



② 画面の案内に従ってお客様

サポートのご利用や家電品
の登録^{※1}を行う



※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。(無料)
保証書または製品本体の銘板に記載されている製造
番号を入力してください。製品本体のコードから登録
することで製造番号の入力を省略できます。

- コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

- ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。

- ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

- 「使いかた動画」のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

- 機種により対応していない項目もあります。

日立充電式掃除機 保証書

持込修理

この保証書は取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、本書に記載されている内容に基づき、無料修理をお約束するものです。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。

形名	PV-BJ700G	※お買上げ日	保証期間
		年月日	本体: 1年
※お客様	ご住所 お名前 電話	_____ 様 ()	
※販売店	ご住所 お名前 電話	_____ 様 ()	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから、記入の有無をご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
(二)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障および損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(チ)電池寿命による故障。
2. この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはご相談窓口→(P.29)にご相談ください。
5. 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店またはご相談窓口→(P.29)にお問い合わせください。

●お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、「保証とアフターサービス」→(P.29)をご覧ください。

修理メモ

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111